

令和6年度（2024年度）第2回東海市3R推進協議会 会議録

と き 令和7年（2025年）3月18日（火）

午後2時～午後3時

ところ 東海市役所 403会議室

1 出席者

(1) 協議会委員（9人）

榊原 弘之 委員長

酒井 雅代 副委員長

毛利 まり子 委員

早川 権慈 委員

森岡 良枝 委員

田中 治幸 委員

山田 涼子 委員

伴野 恵美 委員

加古 敬三 委員

(2) 事務局（3人）

山田課長、小島統括主任、伊藤主任

2 欠席者

1人（阪井 航 委員）

3 傍聴者

0人

4 会議録

(1) 議題

ア 第4次東海市ごみ処理基本計画後期計画に定める具体的な取り組みの実施について（事務局より資料1に基づき報告）

【酒井委員】

提案であるが、「食べきり・使い切り」で保育園では紙芝居の読み聞かせをしているとのことだったが、小学校4年生でごみ問題を授業で扱うのでその時

にも題材にすると良いと思う。京都府宇治市で給食の食品ロスを削減するために様々な取り組みを行い、最終的には一人一日あたりの食べ残しを12.1gとすることができたと聞いた。判別がつくようになる年齢の子どもたちに食品ロス削減について話をして、食べ残すことに罪悪感を持つような大人になってほしいと思う。

【小島統括主任】

学校教育課にも関わってくることなので、他市の例を調べながら調査研究します。

【田中委員】

2ページの(2)「ウ 評価・分析」について、年間11g削減した理由がプラスチック使用製品を資源化したためだとあったが、人口を11万人とすると、市全体で約440トン削減となる。資料2「2 資源の回収量について」の表中「プラスチック製容器包装・プラスチック使用製品」の令和6年度1年間の回収量を1,200トンとしても、440トンと比較すると大きく差があるように感じるので、他の要因があるのではないだろうか。

【伊藤主任】

指摘いただいた通り、数字上はプラスチック使用製品の資源化は少なく感じるが、ごみも資源も全体的に減少傾向にある中で、減少の要因を的確に示すのは難しい。それぞれの家庭でのごみ削減への努力、物価高による買い控え、フリマサイトを活用したリユース等による要因もあるとは思いますが、今回のプラスチック回収の制度の変更は確実な要因とすることができると判断し、資料に記載させていただいた。

イ 主な事業の実績について（事務局より資料2に基づき報告）

【酒井委員】

ボトル to ボトルの回収ボックスは、他の施設に設置する予定はあるか。例えば芸術劇場や図書館、市民活動センターはどうか。

【伊藤主任】

芸術劇場は自販機横に埋め込みタイプの回収ボックスが設置してあるため、他のボックスに変更することができない。その代わり、ボトル to ボトルの紹介パネルを設置している。

【小島統括主任】

幅広く市民が来館する場所をピックアップし、打診したのだが、現在置くことができるのは市役所と市民体育館のみだった。市民活動センターは打診していなかったと思うので、今後調整したい。

【酒井委員】

天ぷら廃油について、資源分別収集常設場に持ち込もうとしたが、持って行った容器から回収用の缶に移し、空容器は持ち帰るよう案内された。油で汚れたボトルを持って帰って捨てるとなると、持込みにくさを感じる方もいると思う。他市町では、ペットボトルに入れた天ぷら廃油をボトルごと回収している所もあり、便利だと思った。

【小島統括主任】

名古屋市は商業施設等でペットボトルごと回収していると聞いており、検討の余地はあると思う。

【酒井委員】

ペットボトルに移す時のじょうごも、そのためにわざわざ買わなくても済むように、組み立て式の簡単なものを秋まつりで配布したりすると、啓発になると思う。

【毛利委員】

ボトル to ボトルの回収ボックスについてだが、普段家庭からペットボトルを出す時は中をかるくゆすいでいるが、自販機横のものとゆすいでないと思う。汚れたままで大丈夫なのか。

【伊藤主任】

自販機横の回収ボックスは自販機設置業者が回収し、リサイクルしているが、リサイクルの過程で洗浄されるため故意で汚されたものでなければ基本的には問題ない。ごみ集積場所や資源分別収集、市主導の店頭回収で集めたペットボトルはリサイクルセンター内の施設で中間処理を行うため、中が汚れていて床にこぼれてしまうと滑って危険であったり、虫がわいて不衛生になってしまったりするため、中を軽くゆすいでほしい。

ウ 西知多クリーンセンターの運営について（事務局より資料3に基づき報告）

【伊藤主任】

委員の中で、西知多クリーンセンターにごみを持ち込んだことがある方は、利用した感想を教えてください。

【加古委員】

5、6回利用した。最初は車の登録の申請書を書いたが、その後は何も書かずスムーズに捨てることができた。最後の精算機が少し遠く、届きにくいと感じた。

【毛利委員】

スムーズに捨てることはできたが、資料にもあったように資源になるものも構わず一緒に捨ててしまうと感じた。

【早川委員】

年末の大掃除で捨てに行ったが、大渋滞であった。

【榊原委員長】

地元企業として地域活動の中で施設見学に行った。クレーンを操るゲーム等、楽しく学べると感じた。

エ その他自由意見

【伴野委員】

実店舗型のジモティースポットについてのニュースを見た。まだ使えるが不用品になったものでも、必要としている人の手に渡るのであればとても良い制度だと思った。東海市でもそういった所ができるととても便利だと思う。

【山田課長】

中部地方では名古屋市と小牧市がジモティーと協定を結び、ジモティースポットをオープンさせた。東海市でもジモティーと協定を結んでおり、現在調整を進めている。場所やオープン日は決まり次第周知する。

【森岡委員】

資源用指定袋について、透明の袋でも出せるようになったが、家の近所のごみ集積場所で、中は見えるが少し白っぽい袋でペットボトルが出されていて数日間残されていた。同じように無色透明でない袋に入れて出されるようなことは多いのか。

【小島統括主任】

無色透明の袋で出せるようになってまだあまり経っていないため、多くはな

い印象である。無色透明でない袋で出された場合は違反ごみシールを貼り、周知のため一定期間置いている。

【森岡委員】

今回残されていたものは、少し白っぽいかと感じたが、透明はどこまでであれば出しても良いのか。

【小島統括主任】

完全に無色透明でないといけない。店舗でも「無色透明」として販売されている。

【毛利委員】

集合住宅はそれぞれごみ集積場所を作っているはずだが、作っていないところが地域のごみ集積場所を利用しているが最近出し方のマナーが大変悪い。何か周知方法はないか。

【小島統括主任】

管理会社等を通じて改善してもらうよう依頼したり、ごみ集積場所を地域とは分けることはある。

【山田課長】

具体的に場所を教えていただければ、収集委託会社からの日報と照らし合わせ、パトロールを強化したりする。管理会社に外国人や短期滞在者向けの掲示を依頼している。

【伴野委員】

ごみ集積場所のカラス被害が最近またひどくなってきた。きちんとネットを被せていてもめくって中を荒らしてしまう。何か良い対策はないか。

【山田委員】

自分の地区でもネットに重石をのせているが、カラスは知能が高く、網を引っ張れば重石をどかせることを認識していて、荒らされてしまう。

【小島統括主任】

ごみを出す人が隙間なくネットをかけることが大事である。ごみ集積場所によっては、ごみの量が多すぎてネットの中に入りきらなくなっている所があり、そのような場合はネット同士をつけて大きなネットにして対応していただいている。特に、可燃ごみ収集が月曜と木曜の地域は月曜日、火曜と金曜の地域は火

曜日が量が多いので、ネットの大きさはごみが多い日に合わせると良い。

また、重石については、ネットの端に短く切った金属チェーンを数か所くくりつけることを市では推奨しており、申し出があればチェーンも配布している。相談があれば職員が現場を確認し、より良い方法を提案させていただいている。

【早川委員】

カラスの駆除はしないのか。

【小島統括主任】

農業被害への対策として農務課が行っている。

【田中委員】

カラス被害が多い季節はあるのか。

【小島統括主任】

4～6月の繁殖期が被害が多い。

【酒井委員】

通勤途中の人が捨てていくため、明らかに住民数よりごみが多く、ネットを拡げたり重石を置いたり対策しているのだが、荒らされてしまう。荒らされた時も毎回掃除をする人は決まっており、自前のごみ袋を使っている。何か対策はできないか。

【小島統括主任】

通勤途中の人が置いて行ってしまう場所は市内でも何か所もある。啓発用の看板を設置することはできるが、モラルの問題であるため対策が難しい。ごみ集積場所清掃用のごみ袋については、町内会や自治会に毎年1年間分渡しているので、会長等に相談してほしい。

以上